

東 温 だ よ り

愛媛県立東温高等学校
令和5年8月28日

保護者の皆様へ

「まさか」

教頭 久門 篤志

在校生の保護者の皆様におかれましては、日頃から本校の活動に御理解・御協力をいただいておりますこと、感謝申し上げます。さて、私事にはなりますが、今年8月で60歳となりました。還暦を迎え、人生の大きな節目にさしかかりました。思い起こせば、幼少の頃から高校生までもやんちゃな性格で、将来について、家族から常に心配されていました。そんな私が大学を経て、「まさか」の教員になっていました。先生からいつも叱られていた生徒が、「まさか」指導する立場の教員になるとは思ってもいませんでした。教員生活が始まると、生徒と一緒に学校活動を過ごしたり、部活動で生徒と同じ目標を共有し、それぞれの立場で努力しあったりすることが楽しくて楽しくて仕方がなかったです。部活動において、「まさか」の目標達成ができたことは良い思い出になりました。指導の際には、思いが伝わらず正直腹が立った時もありましたが、結局は生徒たちみんなが可愛くてしょうがなかったですし、教員になって本当に良かったと思っています。「まさか」は、予想していないことが起こることです。今は無理でも、本人が希望をもって前向きに努力するならば、必ず道は開けてきますし、自分を信じて行動することで「まさか」が起こるのです。3年生は、これから就職や進学に向けてラストスパートです。自分の夢を諦めることなく強い意志をもって努力をしてほしいです。1, 2年生は、仲間とともに夢を実現する準備をして下さい。知識を蓄え、心身を鍛え、行事や部活動では自分の限界を超えて挑戦していくことが大切だと思います。みんなで頑張っていきましょう。

8 ・ 9 月

日	曜	学 校 行 事 等
28	月	始業式 表彰伝達 大掃除 ③～⑤学期始めテスト ⑥HR活動 進路希望調査 身だしなみ指導 健康調査 就職希望者説明会④(3年) 体育祭準備開始
29	火	体育祭特別時間割開始 ⑥⑦体育祭種目説明会
30	水	就職集団面接(3年) 体育祭係別集会(放課後) やぐら設置予定日
31	木	体育祭競技進行打合せ
1	金	体育祭前健康診断
2	土	
3	日	
4	月	体育祭前予行
5	火	
6	水	体育祭準備
7	木	体育祭
8	金	体育祭予備日、補習開始(3年)
9	土	↑ 進研共通テスト模試(3年)
10	日	↓ 全商英語検定
11	月	月テ⑤
12	火	登下校指導
13	水	1年生困りごとアンケート
14	木	全校集会 進路及び新2年生類型・コース選択説明会(総探の時間) 大学入試共通テスト出願説明会⑥(3年希望者)
15	金	第2回人権を考える日 第3回合同専門委員会
16	土	就職選考開始
17	日	
18	月	(敬老の日)
19	火	中間考査発表(2年)
20	水	木曜①～⑥ 文化祭バザー衛生指導
21	木	
22	金	中高連絡協議会
23	土	四者親善スポーツ大会 (秋分の日)
24	日	全商情報処理検定
25	月	
26	火	↑ 中間考査(2年) 考査発表(1・3年)
27	水	
28	木	
29	金	↓ 身だしなみ指導(2年)
30	土	

「愛媛県水平社創立100周年」

人権教育・相談課長
森 良樹

平素から、本校の人権教育に御協力いただきましてありがとうございます。今年度も人権教育への御理解と御支援の程よろしくお願ひいたします。

さて、本年は標記のタイトルにありますように、部落差別をなくしていくために設立された愛媛県水平社の創立100年目の年にあたります。そこで今月号では、愛媛県の水平社にまつわるお話をしたいと思います。

1923(大正12)年、現在の東温市で、全国水平社の愛媛県初の支部が設立されました。のちに愛媛県水平社本部と改称し、県内各地に支部が結成され、水平社運動が広がっていきました。また、愛媛県水平社本部は、他県の水平社と提携しながら、差別解消に取り組んでいきました。

そういった活動の中心的役割を果たした人物の一人が松浪彦四郎です。彼は1895(明治28)年、現在の東温市に生まれました。27歳のとき、県外から一時帰郷した際、部落差別に直面しました。これがきっかけとなって、部落差別解消への思いが高まり、それまで勤めていた県外の新聞社を退社し、帰郷します。そして、「愛媛新報」の新聞記者となって、愛媛県水平社を立ち上げ、水平社運動を広く県民に知らせる啓発活動を行いました。まさに彼は、新聞記者として、「ペンによる闘い」を展開し、差別の解消に大きく貢献したのです。

このように、部落差別解消を目指した愛媛県の水平社運動は、ここ東温市から始まっていったのです。

